

特集 Vol.7

給食費値上げ

7年ぶり

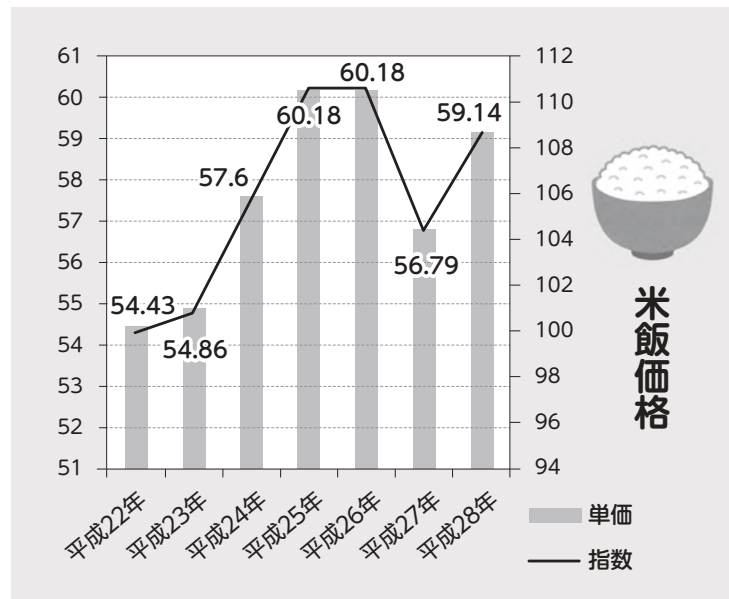
「食材価格の高騰」
議会では、町長の公約違反の声も...

3月定例議会で焦点となったのは、「学校給食費の改定であった。今回の改定は、平成22年度以来7年ぶりの改定となる。改定の主な理由は、主食である米飯やパン、牛乳、副食(おかず等)の食材価格の高騰が続いていること。また、野菜・果物・魚介類などの生成食品等についても、価格上昇の傾向があり、安定的に給食を提供することが困難な状況であるとのこと。しかし、数名の議員から、先の町長選で「学校給食費の無料化を目指す」とした公約に違反しているとの声もあがり、予算案に対して町予算で対応する修正案が提出されたが、修正案に対しては反対多数で否決された。

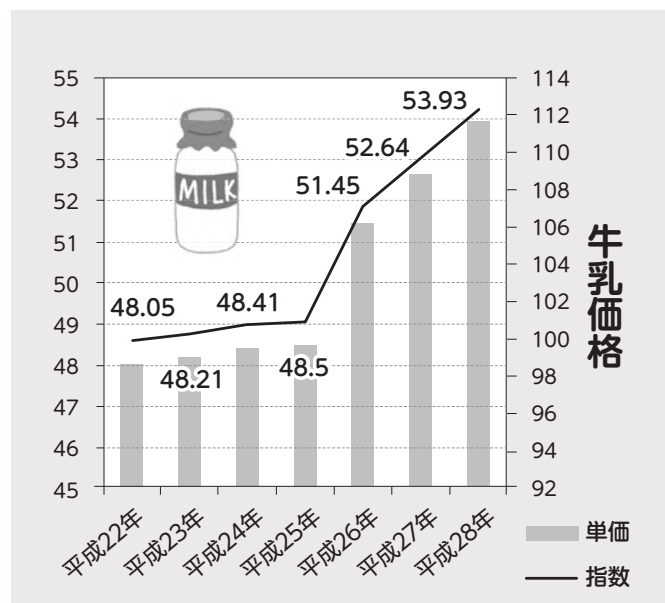
食材価格の高騰が要因 ＝今後も高騰と予測＝

給食費改定の一番の理由は、物価上昇に伴う食材価格の高騰である。

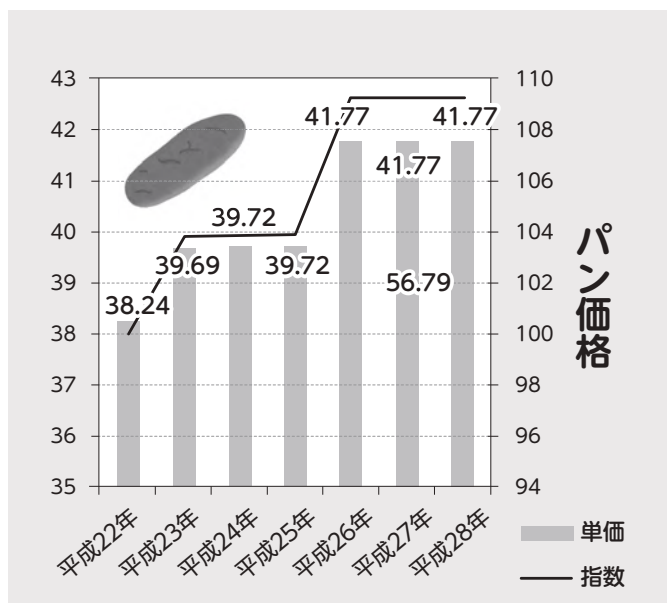
西原町では、平成22年度に現在の給食費に改正された。しかし、当時と比べると主食の米飯やパン、牛乳、また、副食(おかず・デザート等)の価格の高騰が続いている状況にある。さらには、野菜・果物・魚介類などの生鮮食品等についても近年、価格上昇の傾向にあり、その傾向は今後も続くと予測され、「安心・安全で栄養価のバランスのとれた給食」を安定的に提供することが困難な状況にあることから、今回の改定が必要な理由である。



米飯価格



牛乳価格



パン価格

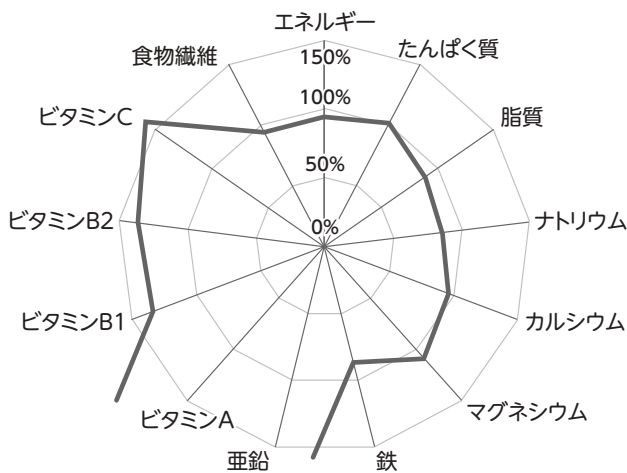
摂取基準 小中学校クリア困難 幼稚園は、ほぼ基準満たす

もう一つの理由として、給食における栄養充足率(栄養バランス)の問題がある。

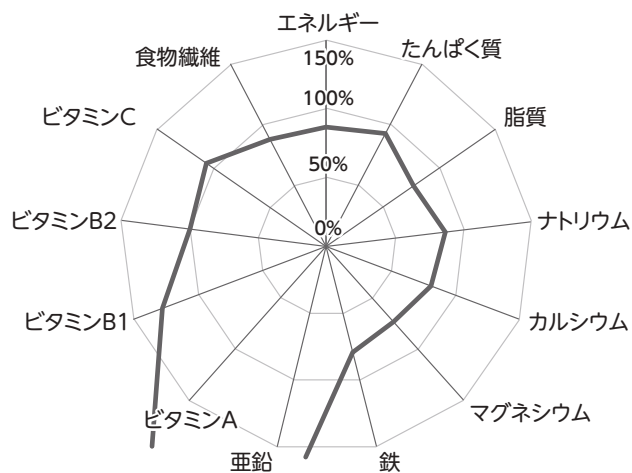
学校給食の栄養バランスは、学校給食法に定める「児童又は生徒の1人1回当たりの学校給食摂取基準」及び「学校給食の標準食品構成表」で全国的な平均値・目標値が定められている。しかし、主食の食材価格の高騰により、限られた給食費の範囲内では相対的に副食(おかず等)に使える金額が減るため、摂取基準を満たすことが困難な状況になっている。

昨年、議員視察で町内の中学生と全議員が、一緒に給食を食べる機会がありました。その後、多くの議員から「この質・量で、本当に大丈夫なのか?」といった声が、多くの議員から聞こえたのも事実である。

H28 小学校栄養充足率



H28 中学校栄養充足率



給食費はいくらになるの?

今回の改定で本町の給食費の値上げ額は、上記の表のとおりである。小中学校共に、月額500円の値上げとなる。それでは、他の自治体は、どうなっているのか調査してみた。

「那覇市は、昨年度改定し、小学校4,500円・中学校5,000円。宜野湾市は、今年度より小学校4,900円・中学校4,900円。与那原町は、那覇市と同額」となっている。

【給食費の改定内容】

	今まで	平成29年4月から	差額
小学校	3,900円/月 214.5/日	4,400円/月 242/日	+500円/月 +27.5/日
中学校	4,500円/月 247.5/日	5,000円/月 275/日	+500円/月 +27.5/日

公約違反の声への町長答弁

給食費改定の問題は、本町や県内多くの自治体を抱えている問題でもある。今後、各自治体でも改定の動きがありそうだ。

無料化の目指す方向は

幼稚園児に就学援助 ～実現すれば県内初～

学校給食法では、「学校給食に要する経費は(学校給食費)、学校給食を受ける児童又は、生徒の保護者が負担する。(簡略文)」とある。しかし、町としては、貧困問題等で手当の必要な方たちへの対応はしっかりやるべきと考えており、厳しい町の財政状況を見極めながら、幼稚園児等に対する就学支援(町独自)など、対策を進めていきたい考えた。

すくすく育て、
未来を担う
子どもたち!



特集記事

特集記事